

和東町総合保健福祉施設 基本設計図書  
(抜粋版)

令和4年11月

建築主 和 東 町

設 計 株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ

計画の背景

和東町では第5次総合計画において、総合保健福祉施設の整備により保健・医療・福祉のワンストップステーションとしての拠点づくりを目指すこととしています。

現在の社会福祉センター及び国保診療所については、建築後50年以上が経過し、耐震性や老朽化など様々な課題があることから、これらの施設を複合化した、今後のまちづくりの中核的な機能を担う「総合保健福祉施設」を整備する必要があります。

令和3年1月に策定された基本計画をもとに、「総合保健福祉施設」を建築として具現化するために基本設計を行います。

計画の狙い

- H31年3月に策定された基本構想において、下記の2つの狙いが示されました。
- ・「住民」にとって利便性が高く安心して総合的な福祉サービスが享受できる環境を提供すること。
- ・「行政（関係機関、団体）」にとって、効率性が増し、効果的なサービスの質・量の提供を可能にすること。

基本設計を検討する上でも、上記の狙いを尊重しながら策定をすすめていきます。

基本方針

整備の基本方針は次の4つです。

- ① 保健・医療・福祉のワンストップステーション**  
住み慣れた地域で、保健・医療・福祉サービスを提供する機能を備えた“ワンストップ型”の拠点施設とし、住民の利便性を高めるとともに、行政や各種関連機関の業務の効率性を高めることにより、住民サービスの向上を目指します。
- ② 世代間・地域間の交流や文化を生み出すふれあい拠点**  
高齢者だけでなく、乳幼児、子育て世代の保護者、元気な子供たち、障害のある方やその関係者といった様々な世代の方が交流する場です。また、和東町の各地域からの人々が様々な機会を通じて触れ合い、文化活動を楽しむ場になることにより、住民間の繋がりを強めていきます。さらに、外部からの来訪者とのふれあいの場ともなる拠点づくりを目指します。
- ③ 町民のだれにとっても安心拠点**  
保健・医療・福祉に関してユニバーサルデザイン※の考え方に基づく整備がなされ、だれもが気軽に利用できる開かれた場を創ります。また、耐震性に優れ、災害発生時の対策拠点としての機能を有するとともに、福祉避難所の機能も備えた場とすることにより、住民の誰もが安心して住めるまちの拠点づくりを目指します。  
(※ユニバーサルデザインとは、障害の有無、年齢、性別、言語等にかかわらず多様な人々が利用しやすいように施設や生活環境をデザインすること。)
- ④ 和東町の魅力や文化を内外に発信するシンボル拠点**  
お茶の町であり、教育観光の町でもある和東町の魅力を内外に発信することにより、文化力・教育力も含めた和東町ならではの「保健・医療・福祉」の総合的な拠点整備のモデルを示し、まちづくりのシンボル拠点の形成を目指します。

計画地の概要



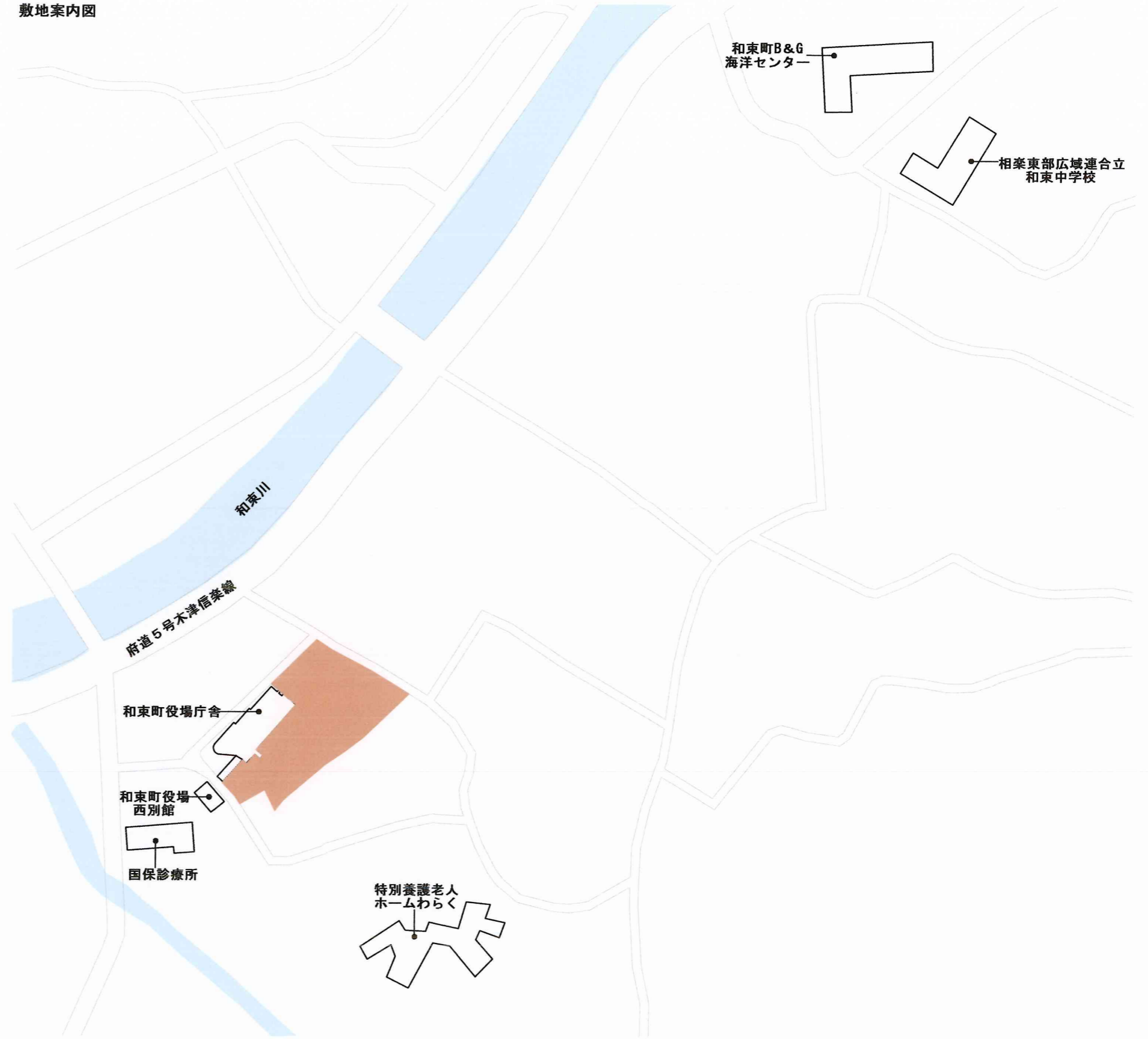
木津川市と甲賀市を結ぶ府道5号木津信楽線や、宇治市と和東町を結ぶ府道62号宇治木屋線など、この地域における主要な道路に隣接しており、各所からのアクセス面において優れた立地です。加えて、犬打峠トンネルの開通も2023年に予定されており、新名神高速道路へも15分程度で連絡できるため京都府南部の連携はもとより、遠方からのアクセス性も向上する見込みです。

計画地は和東町役場や社会福祉センター、国保診療所などの公共施設が集まる和東町の中心部にあたり、地域住民にとって親しみのある場所でもあります。計画建物は和東町役場に隣接する位置に計画し、相互に連携を図ることで町民サービスがワンストップで提供されることが期待されます。庁舎を含めた周辺施設と総合保健福祉施設の一体的な整備を行うことで、住民サービス、ふれあい、災害対策、まちづくりの拠点を構築します。

事業スケジュール

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	<b>基本設計・実施設計</b> 令和4年2月～令和5年3月			
	<b>社会福祉センター解体工事</b> 令和4年10月～令和5年3月			
		<b>総合保健福祉施設新築工事</b> 令和5年6月～令和6年9月		
			<b>備品購入/引越</b> 令和6年10月～令和7年3月	供用開始

敷地案内図



敷地概要

所在地	京都府相楽郡和東町大字釜塚地内
敷地面積	5,587.5㎡ (うち庁舎部分958.9㎡)
都市計画区域	区域外
用途地域	無し
建ぺい率	70%(運用基準)
容積率	400%(運用基準)
市街地整備事業	無し
防火・準防火地域	未指定
日影規制	無し
その他条例	京都府福祉のまちづくり条例 和東町景観条例

建築概要

用途	庁舎(福祉課)、社会福祉センター、診療所、保健センター
建築面積	1,656.97㎡
延床面積	2,403.59㎡(室内面積:2,027.59㎡ 屋外算入面積:376㎡)
1階延床面積	1,280.5㎡(室内面積:927㎡ 屋外算入面積:353.5㎡)
2階延床面積	1,118.59㎡(室内1,100.59㎡ 屋外18㎡)
塔屋延床面積	4.5㎡
最高高さ	12.7m
階数	地上2階+塔屋
構造	鉄筋コンクリート+鉄骨造 耐火構造

### 町の居間（イマ）広場（ヒロバ）である事／人々を守る防災拠点である事

この施設には大きな役割が二つあると考えます。一つは、町民の方々が気軽に集える町の居間や広場のような施設であることです。もう一つは災害時に安全・安心な拠り所である事です。町の人々が使いやすく居心地の良い場であると共に災害時の安全・安心を両立する総合保健福祉施設を実現します。

#### 平面計画

##### 行政窓口（1階）

窓口はアクセスの良い1階中央に配置します。  
保存が必要な書庫等は浸水リスクの無い2階に配置します。

##### 診療所（1階）

高い地盤に配置し、RC 躯体や防水建具により浸水対策を徹底した上で、利便性の良い1階に配置します。

##### 交流部門（1・2階）

1階には“交流のイマ”や調理室など気軽に立ち寄れる施設を配置します。  
2階には“暮らしのイマ”を起点に避難所となる多目的ホール等を配置します。

##### 社会福祉協議会（2階）

2階の吹抜けに面した建物の中央に配置し、施設全体に目が行き届きやすい計画です。

##### 保健センター（2階）

社協と隣接するため相互に連携が図りやすい計画です。

##### 茶畑への眺望

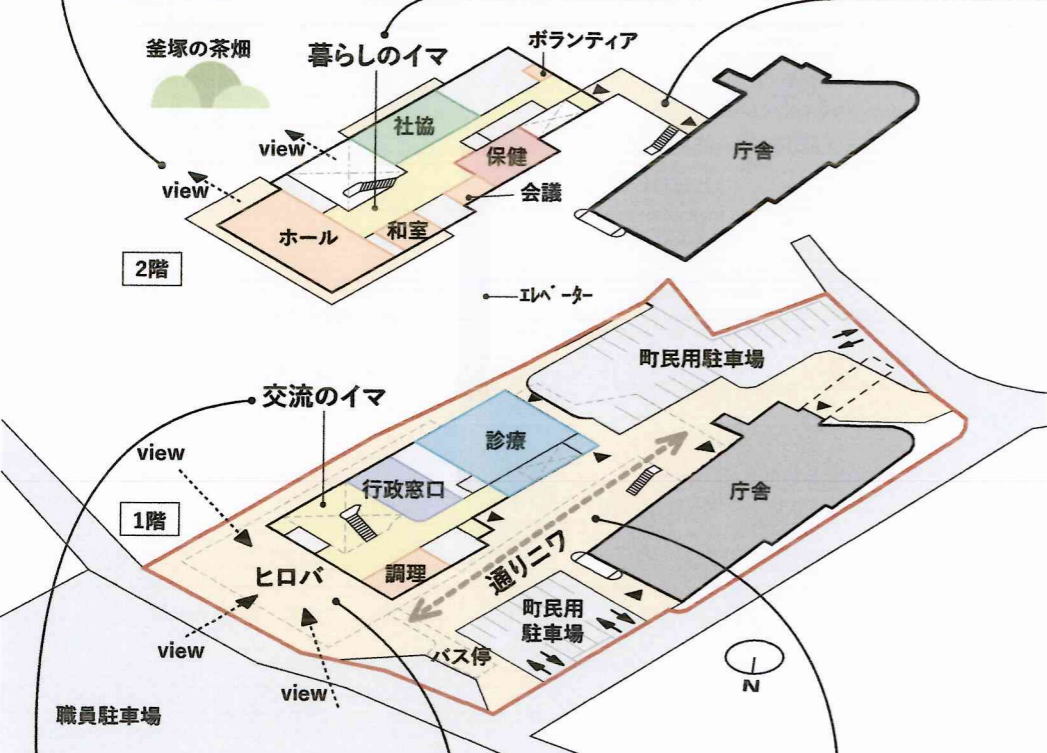
東側に大きな吹抜け空間を設けて、各階から茶畑への眺望が楽しめる。

##### 暮らしのイマ（2階）

各部門を緩やかにつなげる空間。気軽に立ち寄れる相談スペースや、貸室などと連携した憩いの場。

##### 庁舎との連携

2階には庁舎との連携に配慮してブリッジを計画。



##### 交流のイマ（1階）

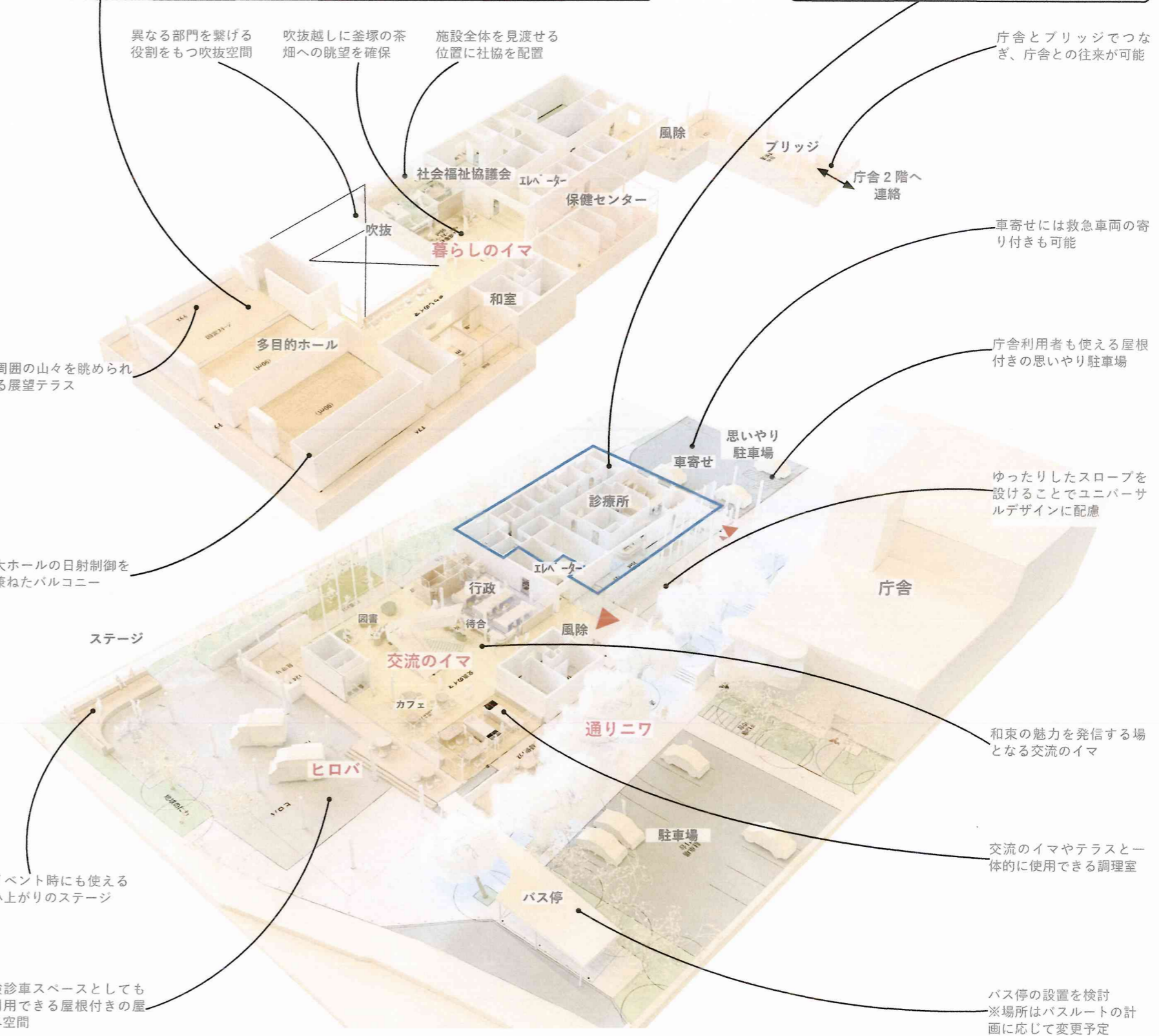
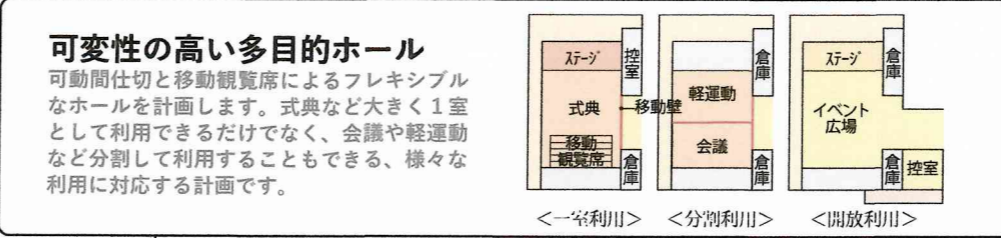
カフェ、図書、キッズコーナーなど町民の交流を創出する空間。地域の魅力を発信する場としても機能。

##### ヒロバ

調理室や交流のイマと連動して利用できる、屋根のある外部空間。周辺からの誘目性の高い賑わいあふれる風景をつくる。

##### 通りニワ

敷地を庁舎正面出入口から東西に繋ぎ、小さな居場所を点在させたアプローチ空間。



##### 独立性の高い診療所

診療所は専用の出入口を設け独立性の高い計画とします。パンデミックなど感染症時には、診療所を他部門の領域と空気が交わらないように運用することが可能です。安心して施設全体を開館できる計画です。



㈱ラカスト アソシエイツ 一級建築士事務所  
愛知県名古屋市中区大須3-5-13  
TEL 052-251-1751 FAX 052-251-1752  
一級建築士事務所 愛知県知事登録(イ-30)第 9152 号  
一級建築士 第 218738 号 伊藤 恭行

COLLABORATOR

PROJECT 和東町総合保健福祉施設

PHASE 基本設計

TITLE 設計概要

SCALE -

DATE 令和4年 11月

PAGE

**外部仕上選定**

長く町民の方々に愛される施設を実現するため、建築の長寿命化や環境負荷の低減、景観との調和などを考慮しながら、以下の方針に基づき仕上を選定していきます。

**高耐久性、耐候性**

長い年月に耐えられる丈夫な仕上を選びます。

**高断熱性**

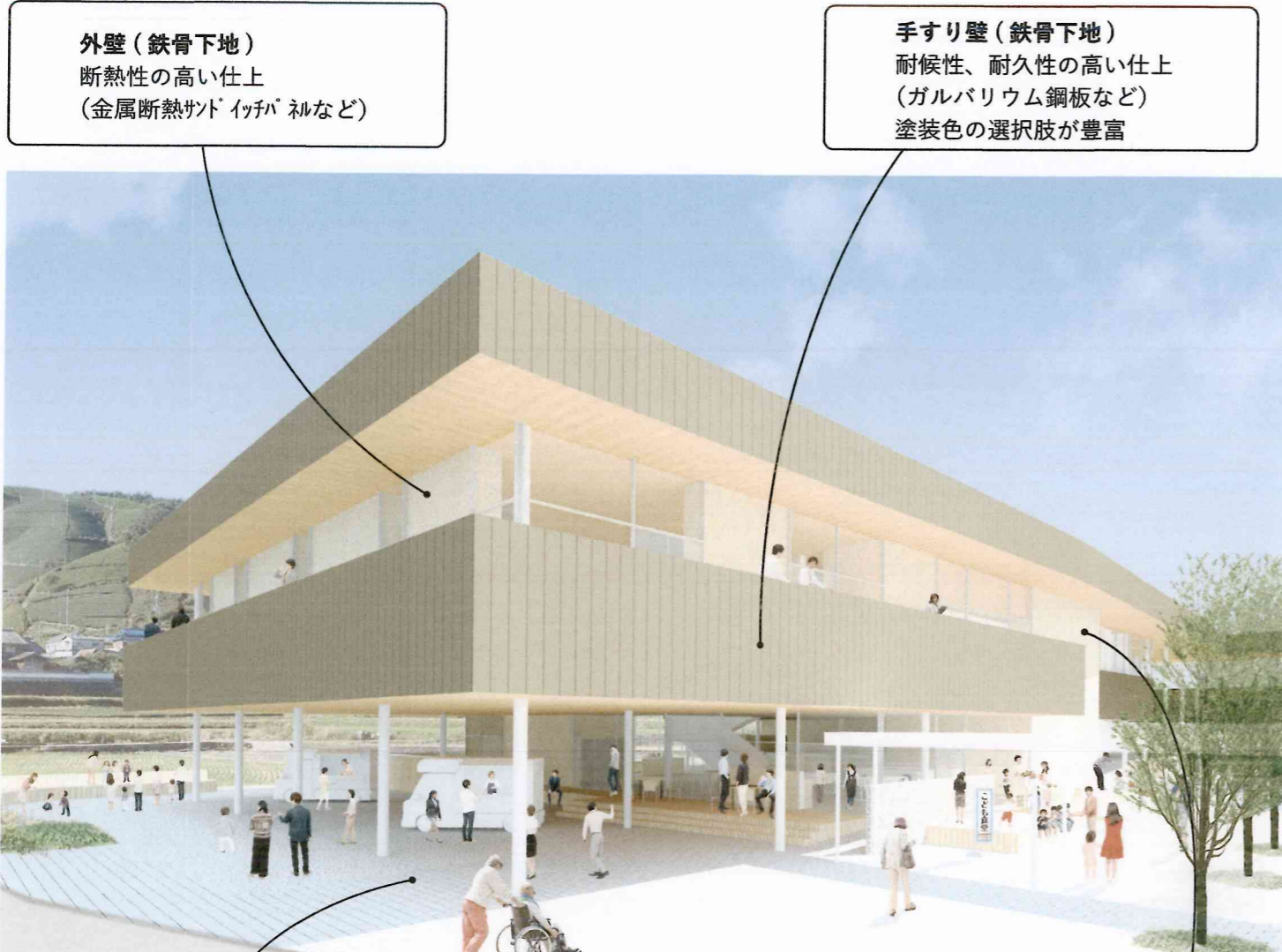
内外の境界部分に使用する仕上は、空調負荷を低減できるよう断熱性能の高い仕上を選びます。

**メンテナンス性**

維持管理をしていくうえで負担の少ない仕上を選びます。

**意匠性**

周辺の景観と調和できる仕上を選びます。



**外壁（鉄骨下地）**  
断熱性の高い仕上  
（金属断熱サドイッチャルなど）

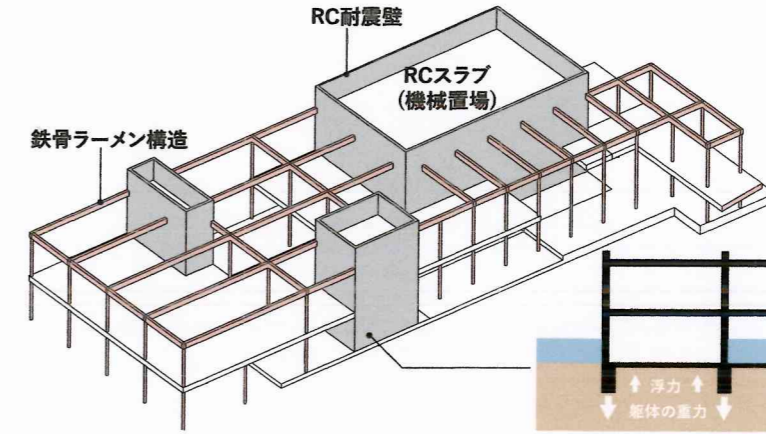
**手すり壁（鉄骨下地）**  
耐候性、耐久性の高い仕上  
（ガルバリウム鋼板など）  
塗装色の選択肢が豊富

**床（通りニワ）**  
保水性、透水性のある仕上を採用  
（インターロッキング、ポラスコンクリートなど）  
滑りにくい表面（安全性）

**外壁（RC下地）**  
断熱性の高い仕上を採用  
（外断熱工法 樹脂性塗装仕上など）  
塗装色の選択肢が豊富

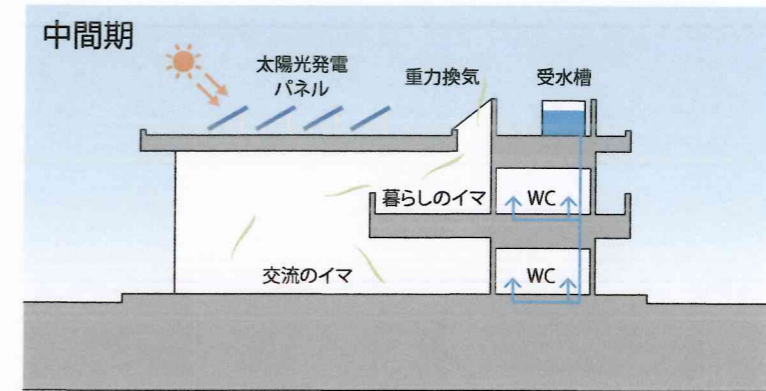
**構造計画**

コンクリートと鉄骨の混構造による、地震や水害に強い架構です。コンクリートで造られた3つのコアにより、大地震にも耐えられる水平耐力を確保します。荷重の大きな機械設備はコンクリートコアの上に配置し、躯体に過度な負担がかからないよう配慮します。鉛直荷重のみを支持する柱は鉄骨造で計画し、軽やかな架構の実現や長スパンへの対応を可能とします。浸水時に水の浮力で建物が浮き上がらないような躯体重量とします。



**環境計画**

自然エネルギーの活用や高断熱化、高効率の空調システムなどにより環境負荷低減に配慮した建築を創ります。中間期は吹抜けを活用した重力換気により効果的な換気を行うことで、非空調で快適に過ごすことができます。浸水リスクや設備更新に配慮して、重要な設備は2階または屋上に配置します。

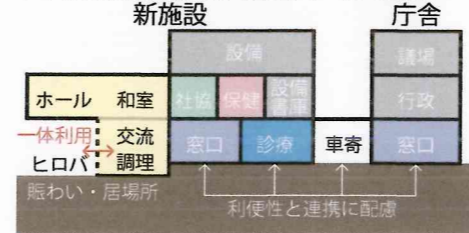


**防災計画**

日常的な利便性に配慮した断面構成とするとともに、浸水や地震などの災害時における防災機能の充実を図ります。利用者の利便性、庁舎を含めた各部門同士の機能連携、ヒロバや交流のイマ、調理室など建物内外の柔軟な連携により、様々な状況に対応できる便利で安全な計画です。

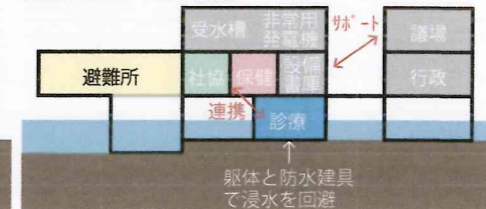
**平常時：利便性と連携に配慮**

利便性や庁舎との連携に配慮して、行政窓口や診療所を1階に配置。カフェや調理室など、市民活動のきっかけとなる施設も接地性に配慮して1階に配置。



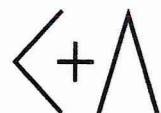
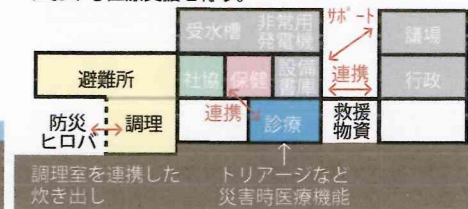
**浸水時：人命救助と機能維持**

避難所や、サーバーやキュービクルなど機能維持に必要な設備を2階より上に配置。1階の診療所についても、RC躯体や防水扉等により浸水対策を徹底。行政窓口の重要な書類も2階に配置。



**地震等の災害：市民の安全と災害支援**

ピロティ空間を吹き出しや救援物資受け入れ等に有効活用します。診療所はトリアージ等を行い、他の外部の医療機関とも連携しながら有事における医療支援を行う。





南西側外観イメージ



北側外観イメージ



1階交流のイマ内観イメージ



2階暮らしのイマ内観イメージ



株式会社 アソシエイト アソシエイト 一級建築士事務所  
 愛知県名古屋市中区大須3-5-13  
 TEL 052-251-1751 FAX 052-251-1752  
 一級建築士事務所 愛知県知事登録(イ-30)第 9152 号  
 一級建築士 第 218738 号 伊藤 恭行

COLLABORATOR

PROJECT

和東町総合保健福祉施設

PHASE

基本設計

TITLE

設計概要

SCALE

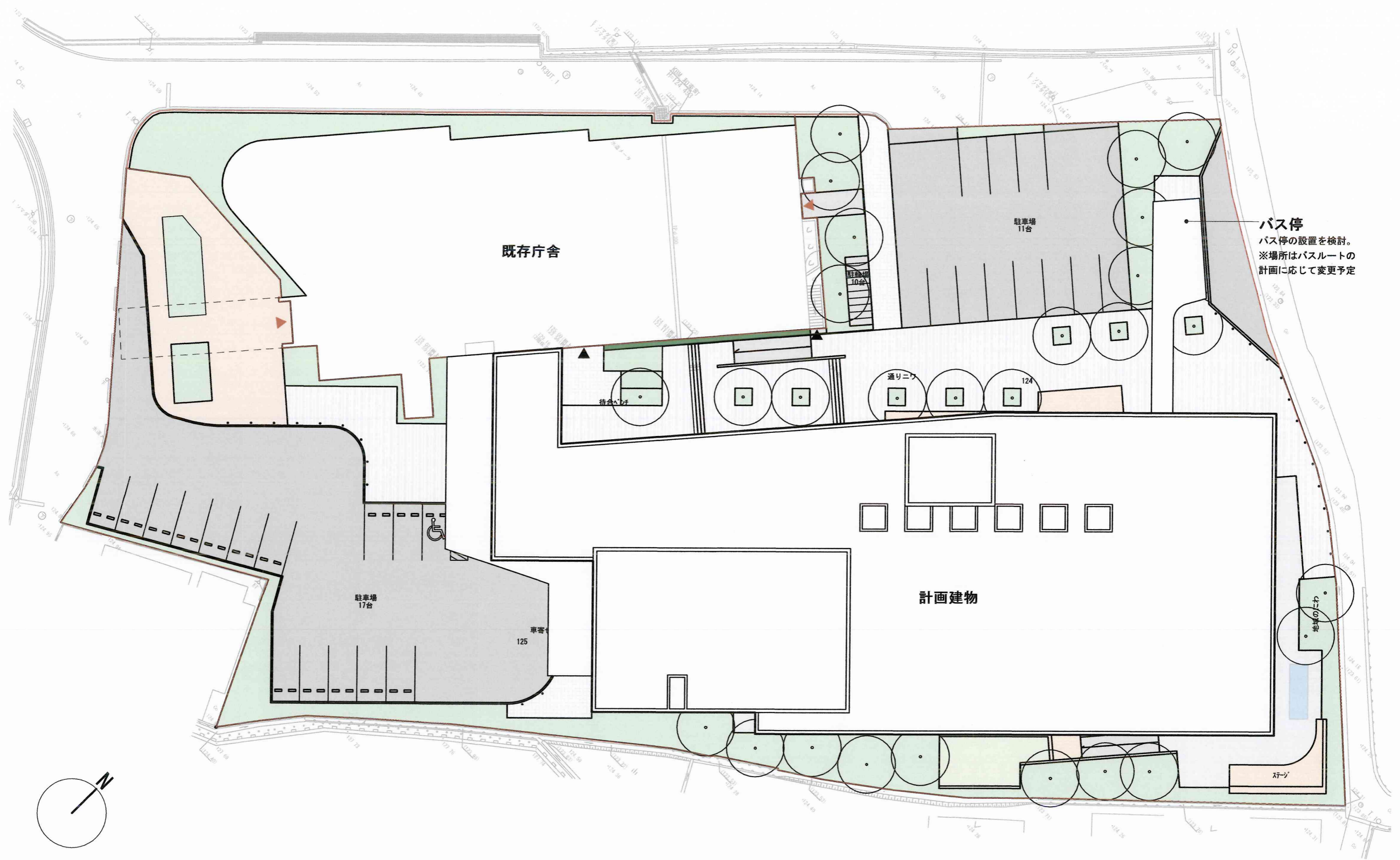
-

DATE

令和4年 11月

PAGE

5



**バス停**  
 バス停の設置を検討。  
 ※場所はバスルートの  
 計画に応じて変更予定

既存庁舎

計画建物

駐車場  
11台

駐車場  
17台

車寄  
125

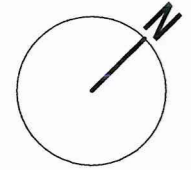
通リニフ

124

待合

地域のこわ

スレー



㈱シーカンスト アソシエイター級建築士事務所  
 〒460-0011  
 愛知県名古屋市中区大須3-5-13  
 TEL 052-251-1751 FAX 052-251-1752  
 一級建築士事務所 愛知県知事登録(イ-30)第 9152 号  
 一級建築士 第 218738 号 伊藤 恭行

COLLABORATOR

PROJECT

和東町総合保健福祉施設

PHASE

基本設計

TITLE

配置図

SCALE

1:300 (A3)

DATE

令和4年 11月

PAGE

6

